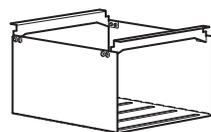
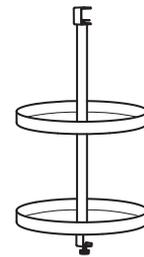
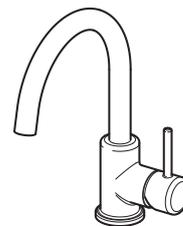
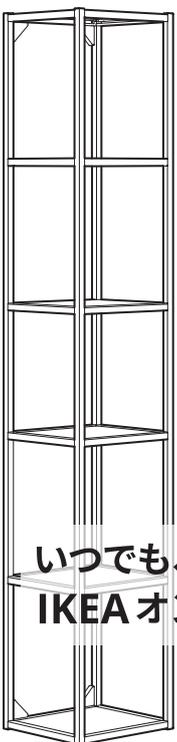
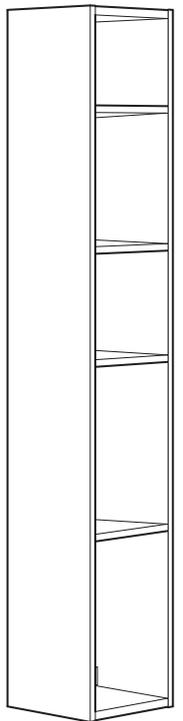
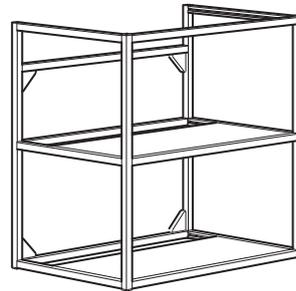
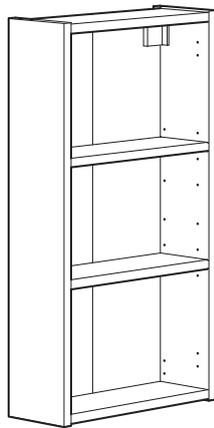


# 洗面台・バスルーム家具 設置のためのDIYガイド



いつでも、どこでも  
IKEA オンラインストア



詳しくはこちら  
[www.IKEA.jp/onlinestore](http://www.IKEA.jp/onlinestore)



# 新しい洗面台・バスルーム家具を設置するための ステップ・バイ・ステップガイド

このDIYガイドでは、ご自身の手で新しい洗面台を設置するお客さまに、設置前の準備や洗面台の組み立て・取り付け方法をご紹介します。作業手順のほかに、ちょっとしたアドバイス、必要な工具に関する情報も含まれています。本ガイドと商品の組み立て説明書に従って、新しい洗面台を正しく設置しましょう。

## お手伝いが必要な場合は

イケアの洗面台は、お客さまご自身の手で組み立てと取り付けが行なえるよう、できるだけシンプルに設計されていますが、理想のバスルームの実現には、ちょっとしたお手伝いが必要な場合もあります。そのためイケアでは、お客さまをサポートするさまざまなサービスをご用意しています。作業の一部だけ依頼したいという方もいれば、すべての作業を依頼したいという方もいるでしょう。お客さまは必要なサービスだけを選んでご利用いただけます。詳しくは、IKEAオンラインストア ([www.IKEA.jp](http://www.IKEA.jp)) をご覧になるか、お近くのイケア店舗にお問い合わせください。

## 作業を始める前に

洗面台の取り付けを始める前に、まずはこのガイドをご覧いただき、新しい洗面台の準備から取り付けまでどんなプロセスがあるのかを確認し、必要な工具を準備してください。

新しい洗面台のパッケージが届いたら、必要なパーツがすべてそろっているかどうかを確認します。注文時のオーダーリストの内容と届いたパッケージを比べてチェックするのがよいでしょう。新しい洗面台のパーツがすべてそろったことを確認したら、既存の洗面台を撤去します。

キャビネットは設置する順に並べて整理しておくことで作業がラクになります。

既存の洗面台の撤去作業を始めるまえに、必ず電気と水道を止め、洗面台に接続されているすべての配管と配線を外してください。

## 専門業者への依頼

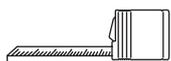
電気・水道の工事、タイル張りについては、お早めに資格を持った専門業者にご相談されることをおすすめします。水道配管や電気配線の変更は、必ず専門業者へ依頼してください。イケア認定の施工サービスパートナーでは、専門の資格を持つプロの技術者を派遣しています。



# 工具と部材

必要な工具と部材のリスト：

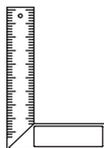
## 工具



折り尺(または巻き尺)



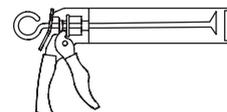
クロスラインレーザー  
水平器



直角定規



水平器



コーキングガン



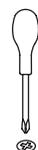
脚立



下地センサー



鉛筆



スクリュードライバー



千枚通し



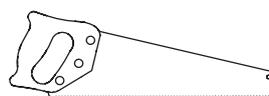
ハンマー



レンチ



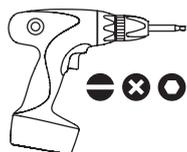
ナイフ



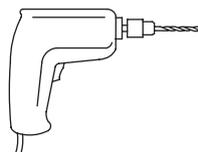
のこぎり



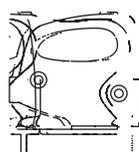
保護手袋とゴーグル



電動スクリュードライバー

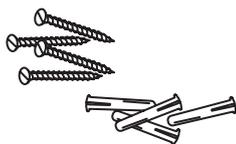


電気ドリル



ジグソー

## 部材



石膏、木材、コンクリートなど、壁にはさまざまなタイプがあるため、壁固定用のネジ等は付属していません。金具の専門店やホームセンターにはさまざまな建材に合ったものがそろっています。ご自宅の壁に合う適切なものをお選びください。



水まわり用  
シリコンシーラント



マスキングテープ(シリコンシーラント  
注入の際に使用します。)

# 準備が 成功のカギ

## 作業前の準備

作業を始める前に、必ず電気と水道を止め、洗面台に接続されているすべての配管と配線を外します。配管をやり直したり、新しく配線を行ったり、コンセントの位置を変更したりする場合は、必ず資格を持った専門業者に依頼してください。

## 既存の洗面台を撤去する

既存の洗面台を撤去する際は、安全手袋とゴーグルを着用するようにしましょう。ベースキャビネットの上に洗面ボウルが取り付けられている場合は、初めに洗面ボウルを取り外す必要があります。洗面ボウルがシリコンで接着されている場合は、バールで押し上げながら取り外してください。次に引き出しや扉を取り外し、最後にキャビネット本体を撤去します。最初にベースキャビネット部分を撤去すると、ウォールキャビネットの取外しが簡単になります。

## 既存の洗面台の処分

取り外した洗面台の処分方法については、お住まいの自治体にお問い合わせください。

## 設置スペースの準備をする

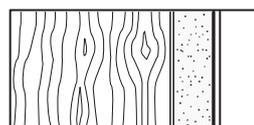
洗面所が空になったこのタイミングで、壁下地の補強工事(必要な場合のみ)、壁の下塗り、ペンキの下塗り、新しいフローリングの敷設などを行ってください。ただし、新しい洗面台の設置が終わるまでは作業した場所の表面をカバーなどで保護しておく必要があります。

新しい洗面台の設置を始める前に、洗面所の設置スペースが作業に適した状態になっているかどうか確認してください。タイル張りや水道・電気の工事など、予定通りに完了しているでしょうか。水道の配管や電気の配線工事は、安全のため必ず専門業者に依頼してください。

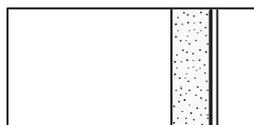


## 壁を調べる

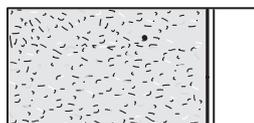
壁はバスルームキャビネットの重量を支えることになるので、初めに壁の特性と構造を確認します。



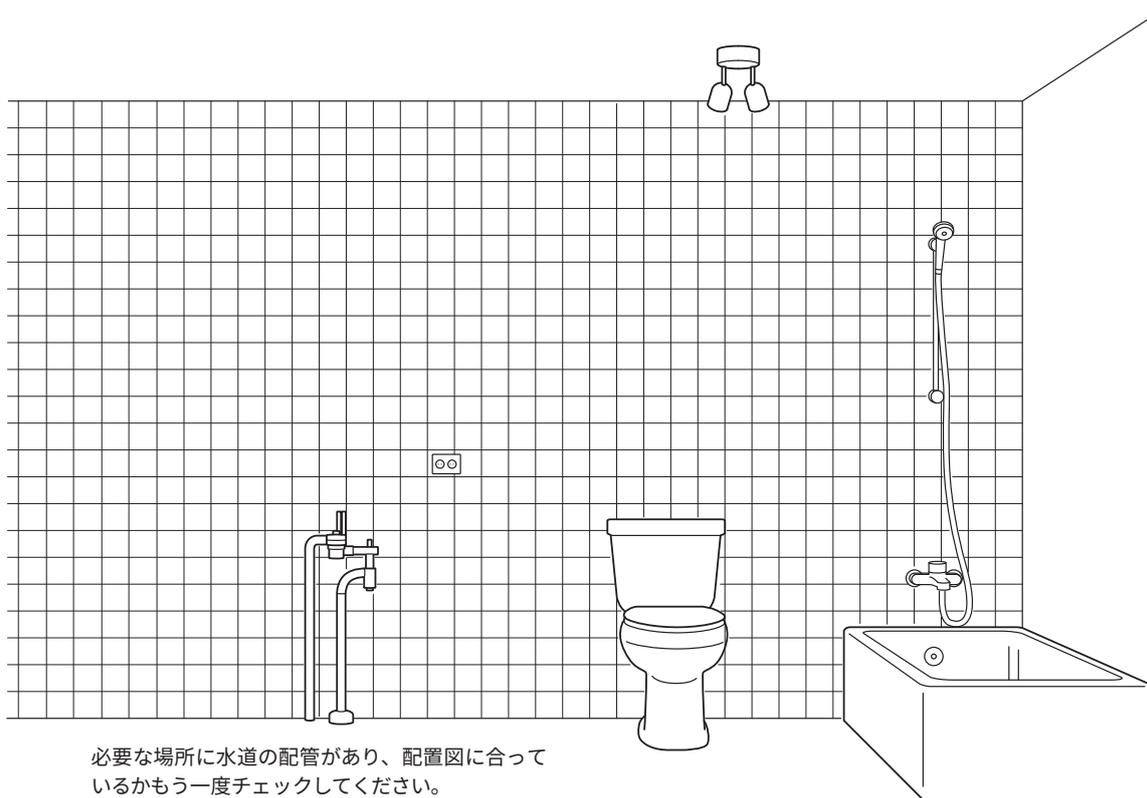
石膏ボードまたはしっくい  
(木製の間柱あり)



石膏ボードまたはしっくい  
(木製の間柱なし)



石造り



必要な場所に水道の配管があり、配置図に合っているかも一度チェックしてください。

# すべてのパーツを確認し、 組立てを開始する

## 作業エリアと作業の流れ

これでキャビネットの組立てを始められます。急いで作業せず、キャビネットを組み立てる作業エリアの準備をして、十分な広さを確保して安全に作業できるようにしましょう。平らな場所を選び、キャビネットのパーツを置けるようにします。床にカバーなどを敷いて床を保護しましょう。

## すべてのパーツを確認する

バスルームのパーツが全部そろっているかももう一度チェックします。パーツをパッケージごとに分け、キャビネットのパーツと洗面ボウルのパーツを取り違えたりしないようにします。必要な工具やシリコンシーラントなどがすべてそろっているかももう一度チェックします。

## 適切な壁固定用のネジを使用する

石膏、木材、コンクリートなど、壁にはさまざまなタイプがあるため、壁固定用のネジ等は付属していません。金具の専門店やホームセンターにはさまざまな建材に合ったものがそろっています。ご自宅の壁に合う適切なものをお選びください。

## キャビネットを組み立てる

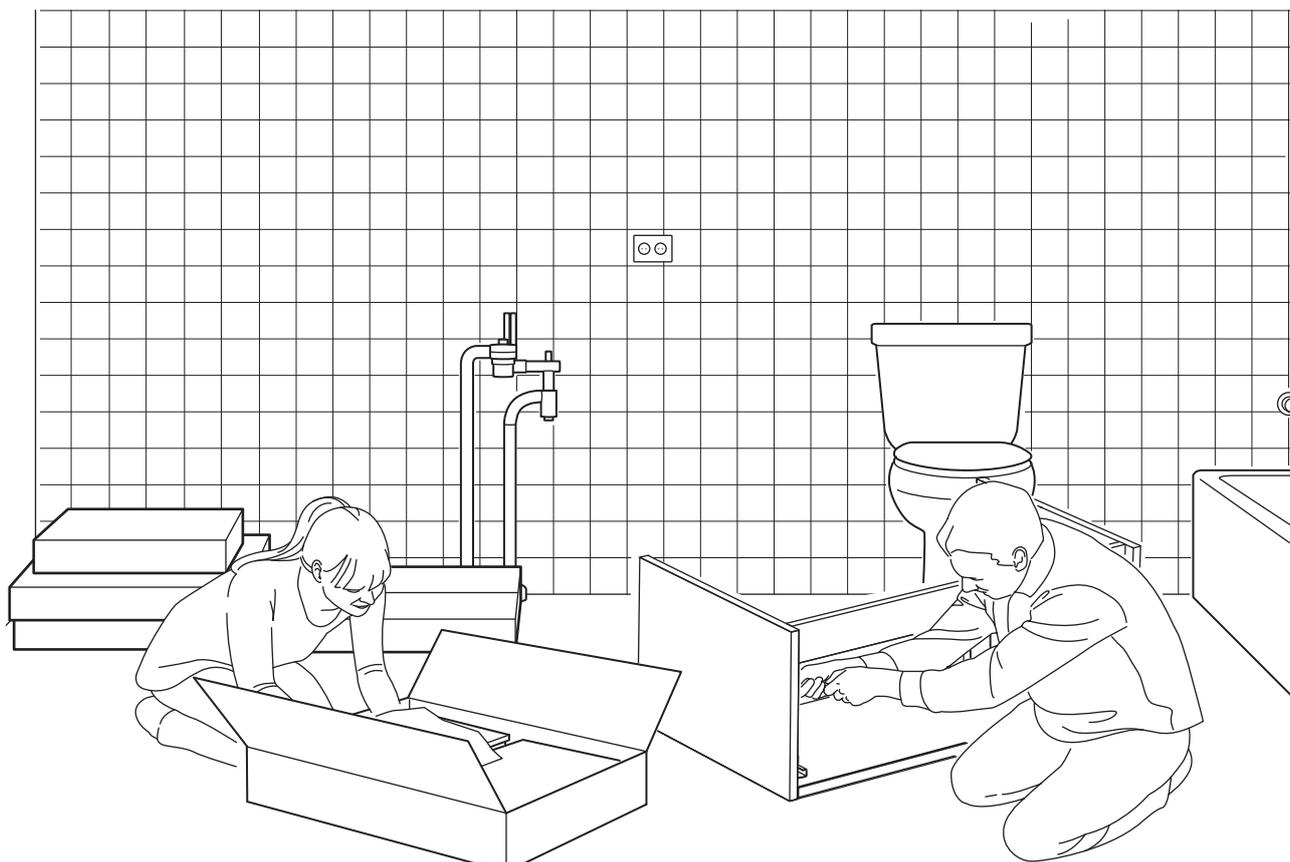
作業をスムーズに行うため、フレームを1台ずつ組み立てて脇に置いておき、あとで全部まとめて取り付けるのをおすすめします。

各モジュールに付属の組立て説明書に従って、キャビネットフレームをすべて組み立てます。引き出し、棚板、扉&引き出し前部の取り付けはあとで行います。

## バスルームの壁が洗面台の重さに耐えられるか

確認することが大切です。壁の強度が十分かどうか分からない場合は、脚を取り付けることをおすすめします。

キャビネットやフレームの組立て説明書に従い、必ず適切な脚を使用してください。



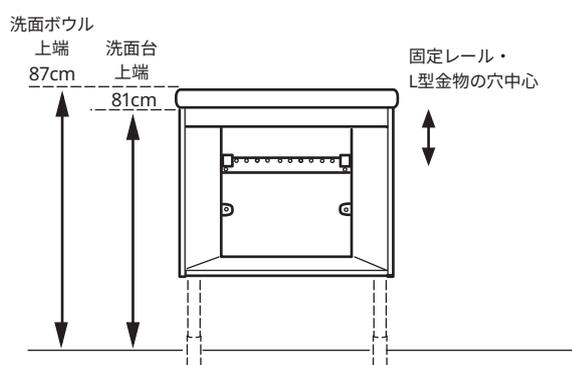
# 洗面台を 壁に取り付ける

これで組み立てた家具を壁に取り付ける準備ができました。以下の情報は、イケアのすべてのバスルーム洗面台と洗面ボウルに応用できます。ただし、詳細については、商品に付属の組立て説明書を必ずご確認ください。このガイドでは、HAVBÄCK/ハーヴベック バスルーム製品を使って、手順をイラストで説明します。

## 寸法を測る

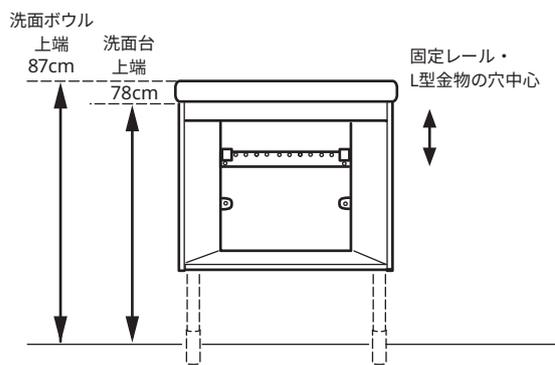
洗面台は、床から洗面ボウルの上端までの高さが80-90cmとなるように設置すると使いやすいでしょう。しかしこれはあくまでも日本で一般的に使いやすいとされている寸法ですので、使う人の身長に合わせて調整してください。

洗面ボウルは種類によって高さが違う(以下の4つの例を参照)ので、ドリル穴の位置の目安については、組み立て説明書にもあるとおり、組み立てた洗面キャビネットの上に洗面ボウルを仮置きして設置の高さを決め、洗面ボウル上端・洗面台キャビネットの上端から壁固定用のレールやL型金物の穴の中心位置を測り、キャビネット固定用のドリル穴の高さを決めます。次に横の間隔を決めます。水平器を使って、正確に水平なラインを引きましょう。高さのラインと間隔のラインが交わる点が、正確なドリル穴位置となります。



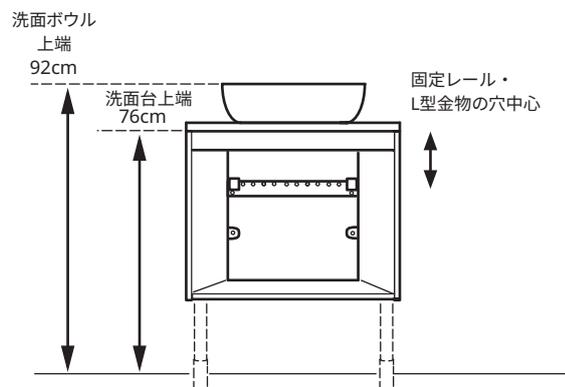
### 例 1

洗面ボウルの縁が低い(6cm)場合、固定レール用の穴を高め(例: 68cm<sup>\*</sup>)にして、低い洗面ボウルを取り付けます。



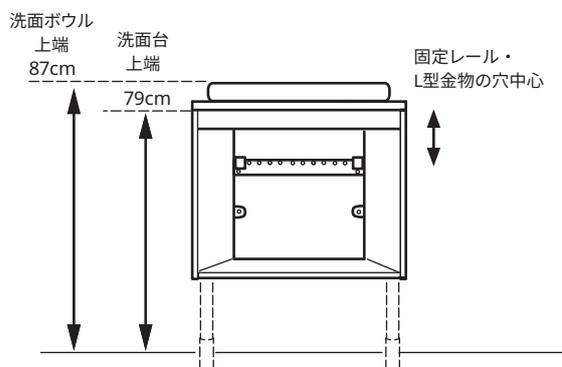
### 例 2

洗面ボウルの縁が高い(9cm)場合、固定レール用の穴を低め(例: 65cm<sup>\*</sup>)にして、高い洗面ボウルを取り付けます。



### 例 3

カウンター用置き型洗面ボウルの縁が高い(14cm)場合、固定レール用の穴を低め(例: 63cm<sup>\*</sup>)にして、高い洗面ボウルを取り付けます。カウンタートップの上面の高さは78cmにします。



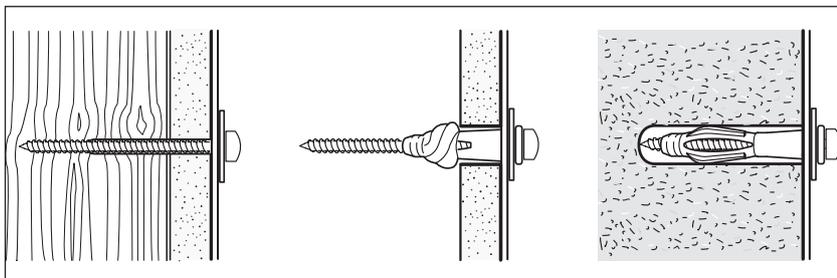
### 例 4

半埋め込み型洗面ボウルの場合、固定レール用の穴を高め(例: 66cm<sup>\*</sup>)にして、洗面ボウルとカウンタートップを取り付けます。カウンタートップの上面の高さは81cmにします。

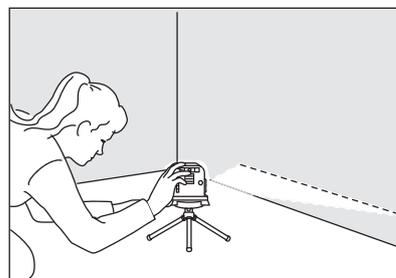
※固定具により異なります。家具ごとの組み立て説明書をご確認ください。

# 洗面キャビネットを 設置する

※ENHET/エーンハート等、固定レールを使用しない洗面台の設置についてはP8をご覧ください。



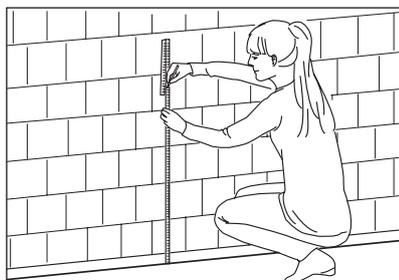
洗面キャビネットを壁に取り付けると、壁にその重さがかかります。そのため、壁が各種のバスルームユニットの設置に適しているかどうか、あらかじめ確認することが大切です。壁の材質により使用できるネジの種類が異なるため、専用の取り付けネジは含まれていません。壁の材質に適したネジをご使用ください。取付けに適したネジに関しては、お近くの専門店にご相談ください。



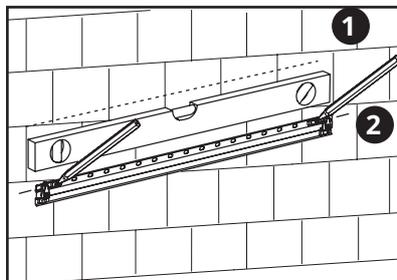
床が一番高くなっている場所を見つけて、その場所の壁に印をつけておく必要があります。バスルーム家具を正しく水平に設置するために、この場所を基点として水平の確認作業を行うからです。

この作業には十分な時間をかけ、2人以上で行ってください。必要な工具やシリコンシーラント、壁固定用のネジなどは、手元に用意しておきましょう。

以下はHAVBÄCK/ハーヴベック バスルーム家具の設置例です。バスルームシリーズによって固定具は異なりますのでご注意ください。穴あけや水平とりなどの準備はほぼ同じです。必ず組立て説明書を参照してください。壁の強度が十分かどうかわからない場合は、脚を取り付けて設置してください。



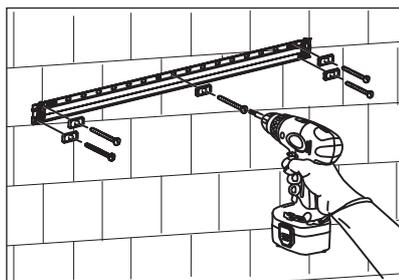
洗面ボウルの高さが決まったら、床から洗面台の上端までの長さを測り、線を引きします(1)。次に、組立て説明書に従って取付け穴の位置を測り、2本目の線を引きします(2)。



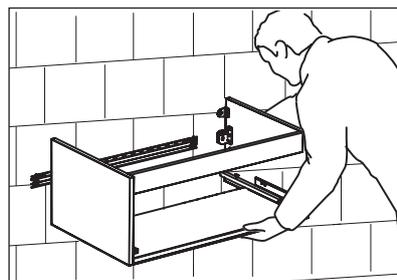
レール用の2本目の線(2)にレールを当て、上の取付け穴の位置に合わせます。穴をあける位置に印をつけます。組立て説明書を参照してください。



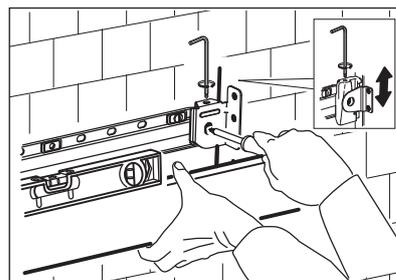
破損しないようダイヤモンドチップドリルビットを使って取付け穴をあけます。ダイヤモンドチップドリルビットがない場合は、タイルにマスキングテープを貼るとドリルがずべりにくくなります。



ネジを締める前に、忘れずにドリル穴に水まわり用シリコンシーラントを充填してください。



組立て説明書に従って、洗面台の背面に付属のL型金物を取り付けます。それから洗面台を静かに持ち上げて取付けネジの上に置きます。

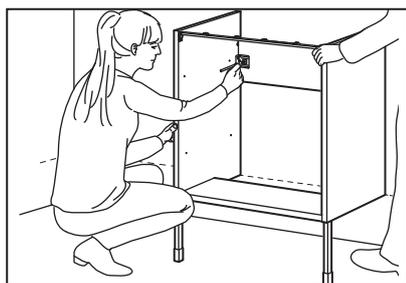


もう一度水平器を使って、洗面台が水平になっているか確認します。多少のずれは、固定具での調整が可能です。洗面台が水平ならネジをしっかりと締めます。

# 固定レールを使わず 洗面キャビネットを設置する

この作業には十分な時間をかけ、2人以上で行ってください。  
必要な工具やシリコンシーラント、壁固定用のネジなどは、手  
元に用意しておきましょう。

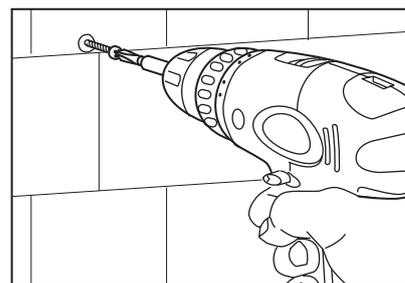
**注意：** 壁や床の材質により使用できるネジの種類が異なる  
ため、専用の取り付けネジは含まれていません。壁や床の材質  
に適したネジをご使用ください。取り付けに適したネジに関し  
ては、お近くの専門店にご相談ください。



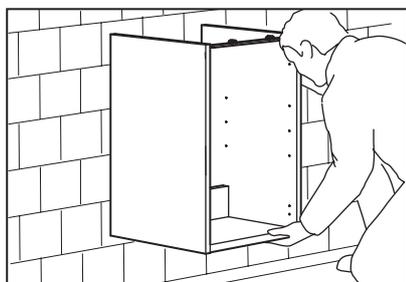
ドリル穴の位置を決めます。キャビネットやフレー  
ムの底をベースライン(235mm)に合わせ、壁に押し  
当てて、壁の取り付け穴の位置に印を付けます。そ  
れからキャビネットやフレームをはずして、印を付  
けた位置にドリルで穴をあけます。



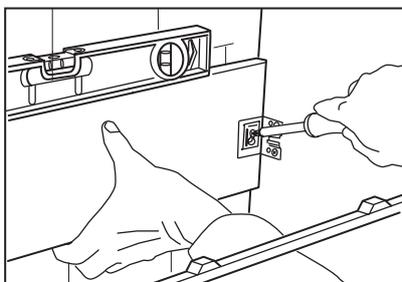
印を付けた位置にドリルで取り付け穴をあけ、シリ  
コンシーラントを充填し、取り付けネジをねじ込み  
ます。この時点ではネジを完全に締めないでくださ  
い。ダイヤモンドチップドリルビットを使うと、タ  
イルを傷めません。ダイヤモンドチップドリルビッ  
トがない場合は、タイルにマスキングテープを貼ると  
ドリルがすべりにくくなります。



ネジを締める前に、ドリル穴に水まわり用シリコン  
シーラントを充填したかをもう一度確認してくださ  
い。この時点ではネジを完全に締めないよう注意し  
てください。



組み立て説明書に従って、洗面台の背面に付属のL  
型金物を取り付けます。それからキャビネットを静  
かに持ち上げて取り付けネジの上に置きます。



もう一度水平器を使って、洗面台が水平になってい  
るか確認します。多少のずれは、固定具での調整が  
可能です。洗面台が水平ならネジをしっかりと締め  
ます。



フレームを横に並べたソリューションをつくる場合  
は、必ず、フレームに付属しているクランプで連結  
してください。

# 固定レールを使わず ウォールキャビネット/フレームと ハイキャビネット/フレームを取り付ける

この作業には十分な時間をかけ、2人以上で行ってください。必要な工具やシリコンシーラント、壁固定用のネジなどは、手元に用意しておきましょう。

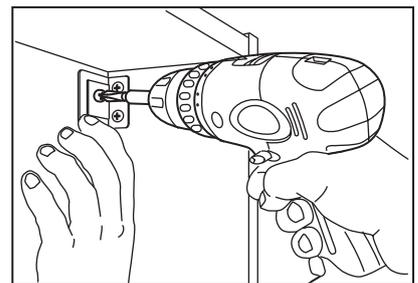
バスルームの壁がキャビネット/フレームの重さに耐えられるか確認することが大切です。壁がハイキャビネット/フレームの重さを支えきれない場合は、ENHET/エーンヘット脚を使って支えることができます。キャビネットやフレームの組み立て説明書に従い、必ず適切な脚を使用してください。



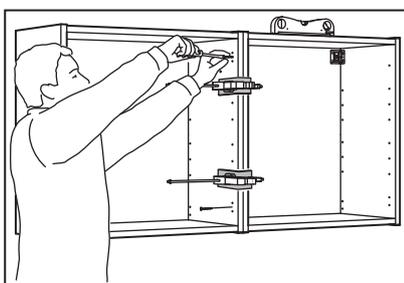
洗面台を取り付けたら、洗面台キャビネットの横から垂直に線を引きます。



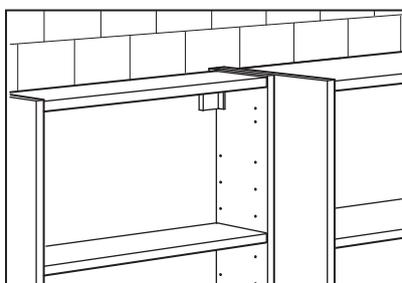
それからウォールキャビネットの位置を、すでに印を付けたウォールキャビネットのボトムラインと、さきほど引いた垂直の線に合わせます。位置を合わせたら、壁の取り付け穴の位置に印を付けます。



次に、ドリルで穴をあけ、シリコンシーラントを充填してから、ネジを半分ほどねじ込む手順をくり返します(前ページのステップ2)。キャビネットを取り付け、ウォールキャビネットの水平のラインに合わせたら、ネジをしっかりと締めます。



キャビネットを2台以上設置する場合は、2台目のキャビネットを1台目の高さや位置に合わせます。2台目のキャビネットを取り付けたら、キャビネットに付属しているネジで2台を連結します。



ハイキャビネットを取り付けるときは、隣のウォールキャビネットか、すでに印を付けたハイキャビネットのラインに合わせます。壁の取り付け穴の位置に印を付けたら、ドリルで穴をあけ、シリコンシーラントを充填し、キャビネットやフレームを取り付ける手順をくり返します。必ずすべてのユニットの位置が合っていることを確認してから、ネジをしっかりと締めてください。



フレームを横に並べたソリューションをつくる場合は、フレームに付属しているクランプ(接続金具)で必ず連結してください。

# 洗面ボウル、排水トラップ、混合栓を取り付ける

洗面ボウルと混合栓の取付けを始める前に、必ず給水接続が適合していることを確認してください(混合栓ホースの給水)。それから水道の元栓を閉めます。

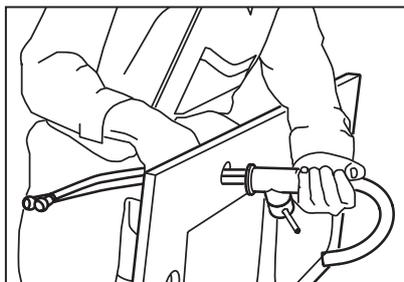
## 注意：

下に洗面台のない洗面ボウルを設置する場合は、洗面ボウルの組立て説明書で設置方法をご覧ください。

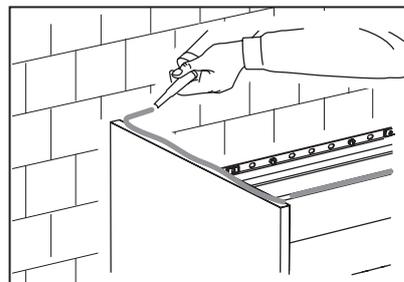
この作業は必ずお住まいの地域の建築基準や配管基準に従って行ってください。設置に関してご不明な点がある場合は、専門業者にお問い合わせください。



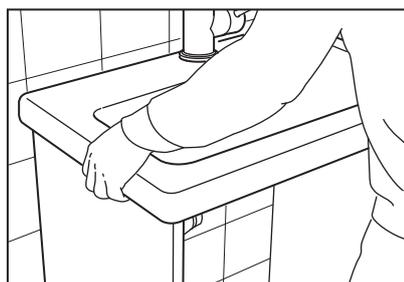
洗面ボウルを裏返し、組立て説明書に従って排水トラップを取り付けます。



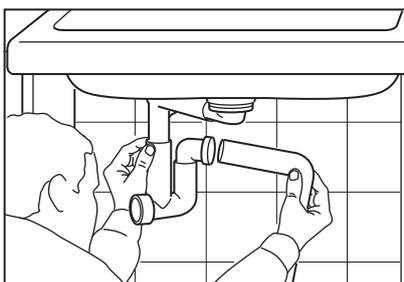
混合栓の組立て説明書に従って、洗面ボウルに混合栓を取り付けます。固定用ナットを軽く締めて混合栓を洗面ボウルに取り付け、混合栓を正しい位置に調整したら、ナットをしっかり締めて固定します。



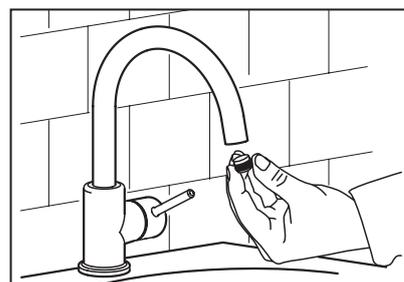
洗面台の両側の上端、フロントレール、洗面ボウルの裏側にシリコンシーラントを塗ります。



洗面台の上に洗面ボウルを置き、マスキングテープをはがして、3時間以上乾燥させます。



次に、混合栓の位置を固定し、組立て説明書に従って排水トラップの取付けを完了して、混合栓のホースをすべて接続します。



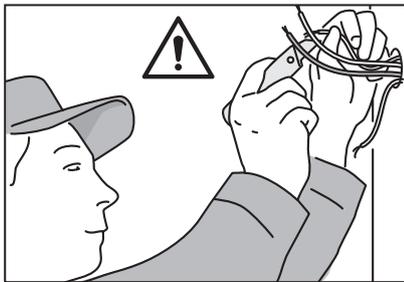
水道の元栓を開けます。混合栓からエアレーターを取り外して、水を出しっぱなしにします。ホース接続部と排水トラップに漏れないことを確認します。エアレーターを混合栓に取り付けます。洗面ボウルと壁の間にシリコンシーラントを点状に塗ります。マスキングテープを貼ってからシリコンシーラントを塗ると、はみ出さずにきれいに仕上がります。乾かします。

# 照明、引き出し、扉、棚板、ノブや取っ手を取り付ける

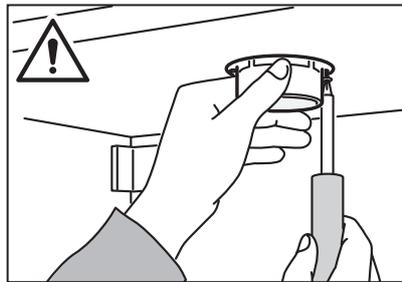
キャビネット、ワークトップ、設備機器の取付けが終わったら、照明やキャビネット内収納を設置していきます。

扉、引き出し前部、ノブや取っ手を組み立てて、バスルームを思いどおりのスタイルに仕上げましょう。

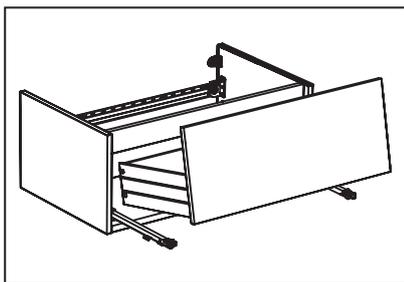
**注意：**必ず組立て説明書を参照してください。



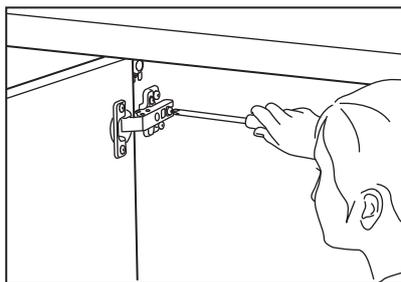
照明を設置する場合、電気の接続は必ず有資格技術者が行う必要があります。



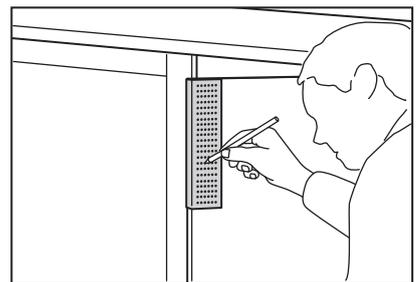
ドリルで穴をあける場合は、裏側に板の端材を当てると、きれいに貫通して、穴の縁がささくれになるのを防ぎます。シリコンシーラントを塗るのを忘れないようにしましょう。



次に、組立て説明書に従って扉や引き出しを取り付けます。扉や引き出しを取り付けたら、ヒンジや引き出しを調節して位置のずれを修正します。



次に、組立て説明書に従って扉や引き出しを取り付けます。扉や引き出しを取り付けたら、ヒンジや引き出しを調節して位置のずれを修正します。



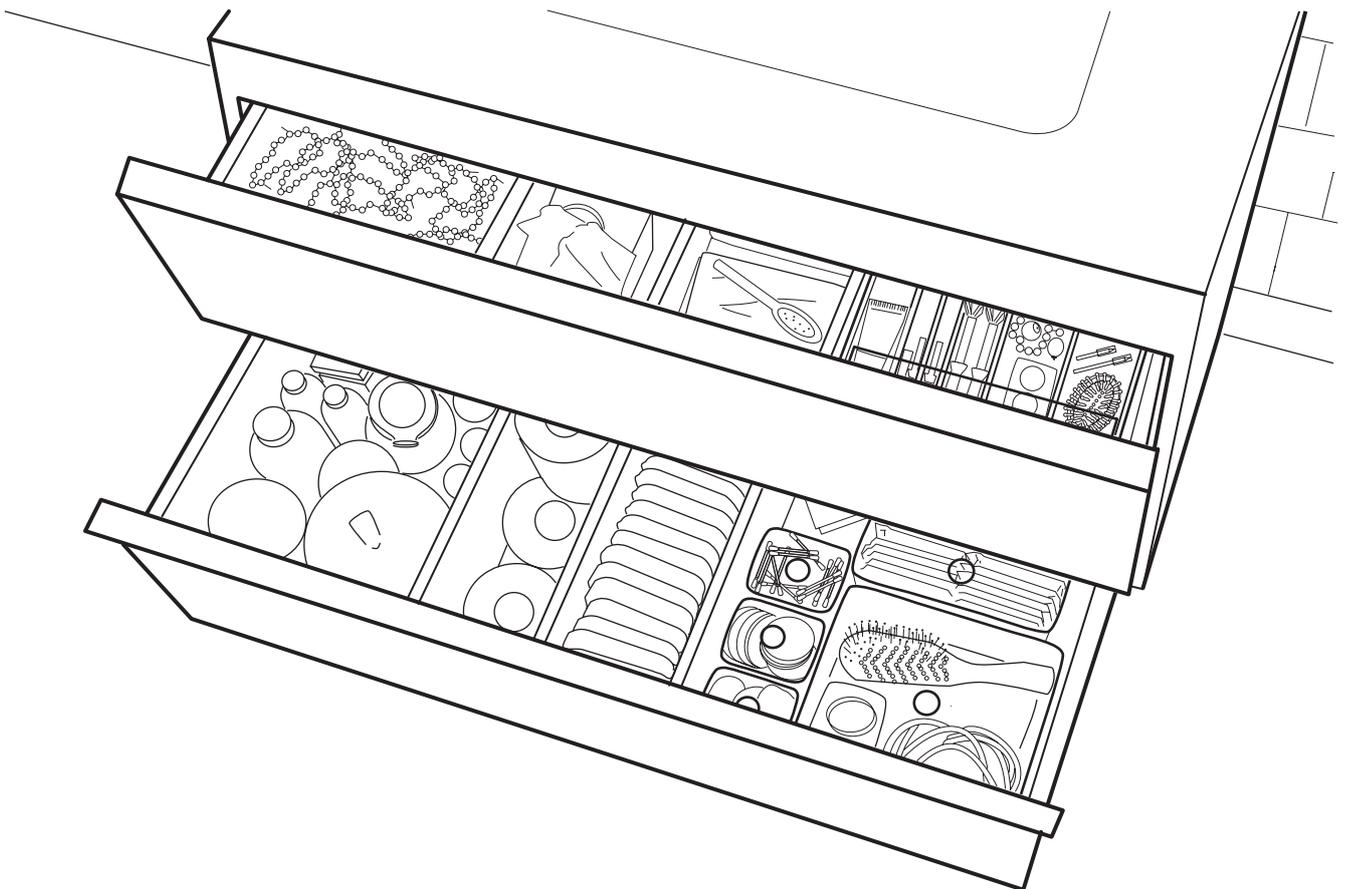
ノブや取っ手を取り付ける場合は、FIXA/フィクサドリルテンプレートの使用をおすすめします。ノブや取っ手を簡単にきれいに取り付けられます。

# 最後の仕上げで、 使いやすさに差が出ます

---

理想のバスルームづくりは徹底的なプランニングから始まります。あなたやご家族の用途やニーズを考え、設置スペースの準備を整えてバスルーム家具を取り付けたら、理想のバスルームの完成です。バスルームソリューションの仕上げに、パーソナライズして機能性やコーディネートをさらに高めたいと思うかもしれません。

イケアでは、あらゆるテイストとスタイルのカラフルなバスルームテキスタイル、バスルームアクセサリー、照明も幅広く取りそろえています。テキスタイルは柔らかさと美しさをプラスして、あなたやご家族にぴったりの理想のバスルームを完成させます。



# いつまでもきれいにお使いいただくために

## おつかれさまでした！

新しい洗面台はいかがですか？ 商品パッケージに同梱されている注意事項に従って洗面台をお手入れしていただくと、この先もきれいな状態で長くお使いいただけます。

## 換気と湿気

洗面所は適度に換気してください。イケアの洗面台は洗面所の環境を考慮してデザインされていますが、過度に水がかかったり、湿度の高すぎる場所を嫌います。水分がしみ込まないように、濡れたらなるべく早く水気を拭き取ってください。

## 水栓のお手入れ

水または中性洗剤を含ませた柔らかい布で拭いてください。クレンザー、スチールたわし、酸性洗剤、カルシウム分解剤やアルコール、研磨剤を含む洗剤は絶対に使用しないでください。石灰状の汚れは、家庭用の酢を使ってふき取り、水ですすぎます。イケアの洗面台用混合栓にはすべて、節水機能がついています。フィルター/エアレーター部分はときどき取り外し、洗浄してください。カルシウムがこびりついている場合は、酢の溶液に入れて洗ってください。

## 洗面台、ウォールキャビネット、ミラーキャビネット、ハイキャビネットのお手入れ

扉、キャビネット内部、木製部分は柔らかい、湿った布で拭いてください。材質に適した洗剤のみを使い、アンモニア、アルコール、漂白剤、研磨剤が入った洗剤は使用しないでください。水ですすいだ後、きれいな布で拭き取ってください。表面に溶剤が垂れた場合にはそのまま放置せず、すぐにふき取ってください。

## 洗面ボウルのお手入れ

洗面ボウルの材質の種類によってお手入れ方法が異なります。下記のお手入れ方法を守って使用すれば、この先もきれいな状態のまま長くお使いいただけます。

## 陶磁器

陶磁器製の洗面ボウルはお手入れしやすく、ほとんどの化学薬品に耐性がありますが、強い酸性または強いアルカリ性の薬品は使用しないでください。中性洗剤に浸した柔らかい布で洗ってください。

## 大理石砕石

大理石砕石製洗面ボウルの美しさを保つためには、アンモニアや酸、研磨剤入りの強い洗剤、ヘアカラー、塩素系の薬品などは使用しないでください。普段のお手入れは、水または中性洗剤に浸した布で拭いてください。



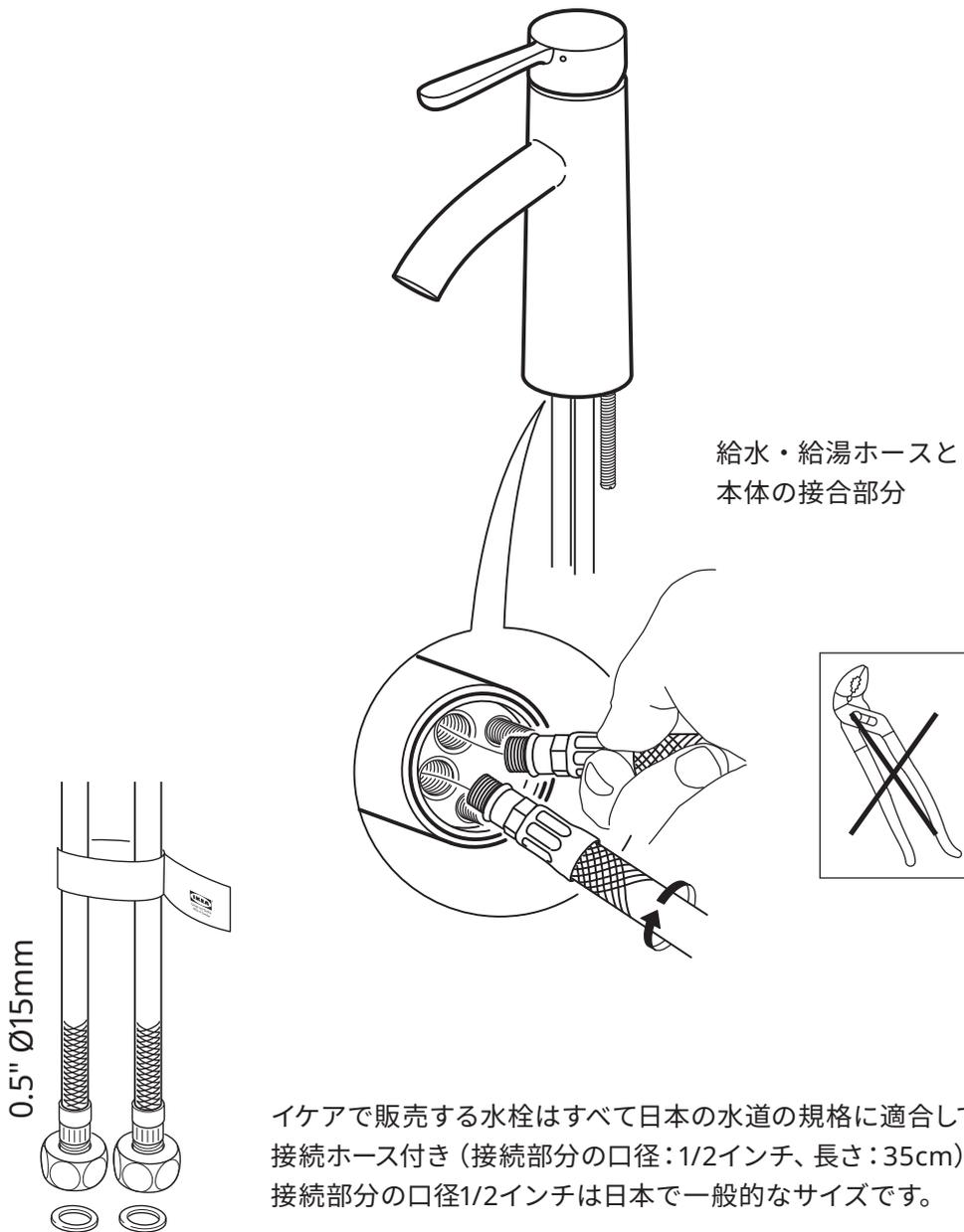
# イケア製の水栓を取り付ける際の注意点

イケア製の水栓を取り付ける際は、まず初めに、水栓自体のパーツ接合部分すべてがしっかりと締まっていることを確認してから取り付けを行ってください。

特に下記の接合部分は、定期的に水漏れがないか点検してください。

## ▶ 給水、給湯ホースが本体へ接合している部分

ネジ式で接合されていますので、しっかり締めてから設置して下さい。



※ 混合栓付属の給水ホースの長さが足りない場合は、市販の延長ホースを別途ご購入の上ご使用ください。  
※ 単水栓の場合、フレキ給排水管は同梱されていません。別途ご用意ください。

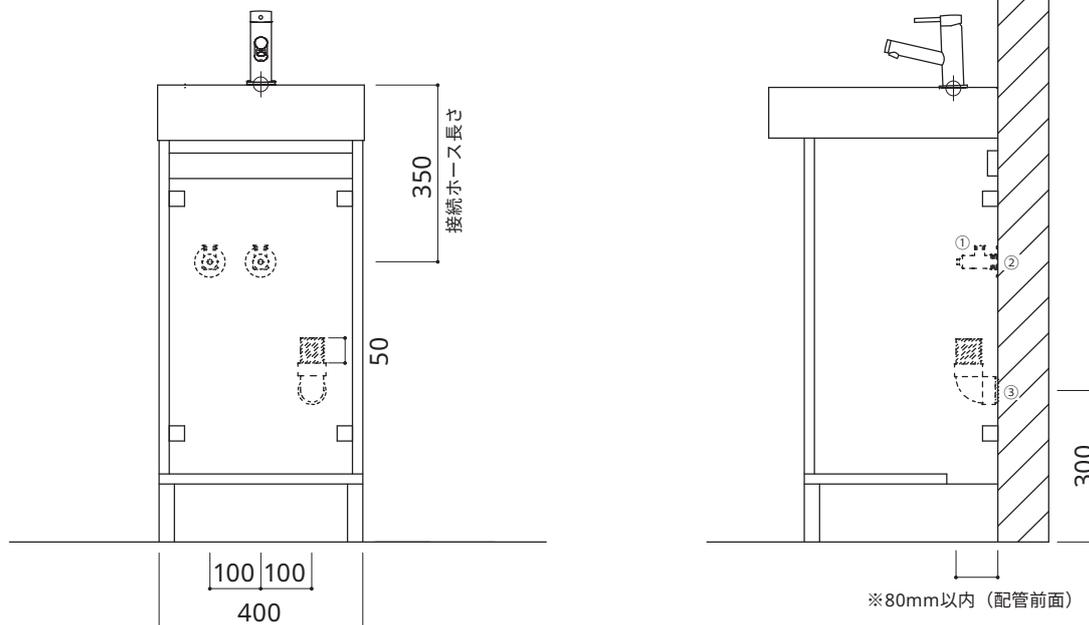
# 工事寸法図

※各商品の組み合わせ・寸法図は、ウェブサイトや各バスルーム家具シリーズの購入ガイドをご覧ください。  
 ※洗面台設置高さにより商品と給排水が干渉する場合があります。商品ごとに確認ください。



購入ガイドはこちら

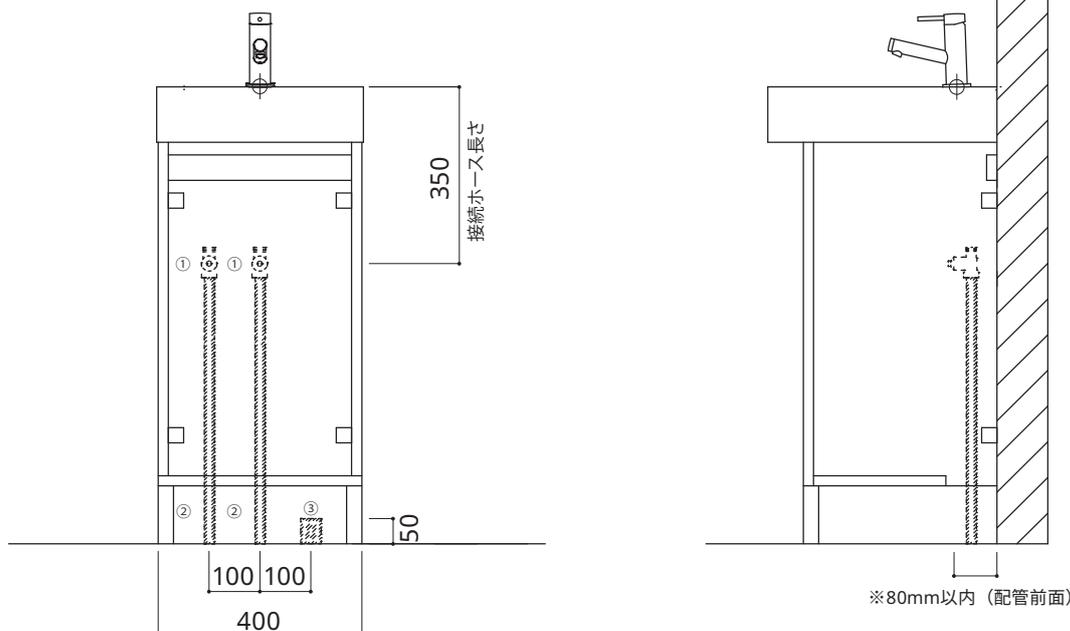
## W400/壁給排水の場合



【推奨部材】 ※別途、水道工事が必要となります。

- ①D型化粧バルブ（アングル止水栓）呼13A  
 ※水栓ホース接続の際、長さが足りない場合は「フレキホース」をご利用ください。
- ②短ニップル
- ③排水管（VUまたはVP管）呼40 エルボ取付 先端50mm立上

## W400/床給排水の場合

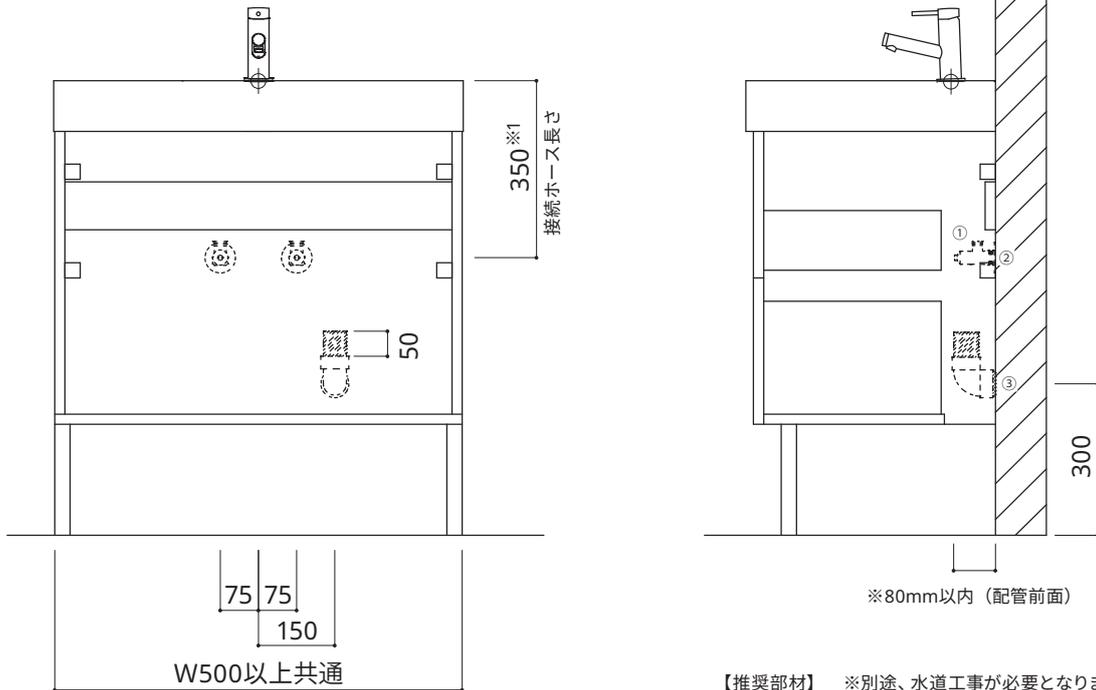


【推奨部材】 ※別途、水道工事が必要となります。

- ①D型化粧バルブ（アングル止水栓）呼13A  
 ※水栓ホース接続の際、長さが足りない場合は「フレキホース」をご利用ください。
- ②給水管（メッキ管）呼13A
- ③排水管（VUまたはVP管）呼40

※1：ENHET オープン ベースフレームは、専用の脚を取り付けた場合、TVÄLLEN 洗面ボウル上端から340-360の位置にレールがくるので、上端から300mmの位置に配管を出してください。

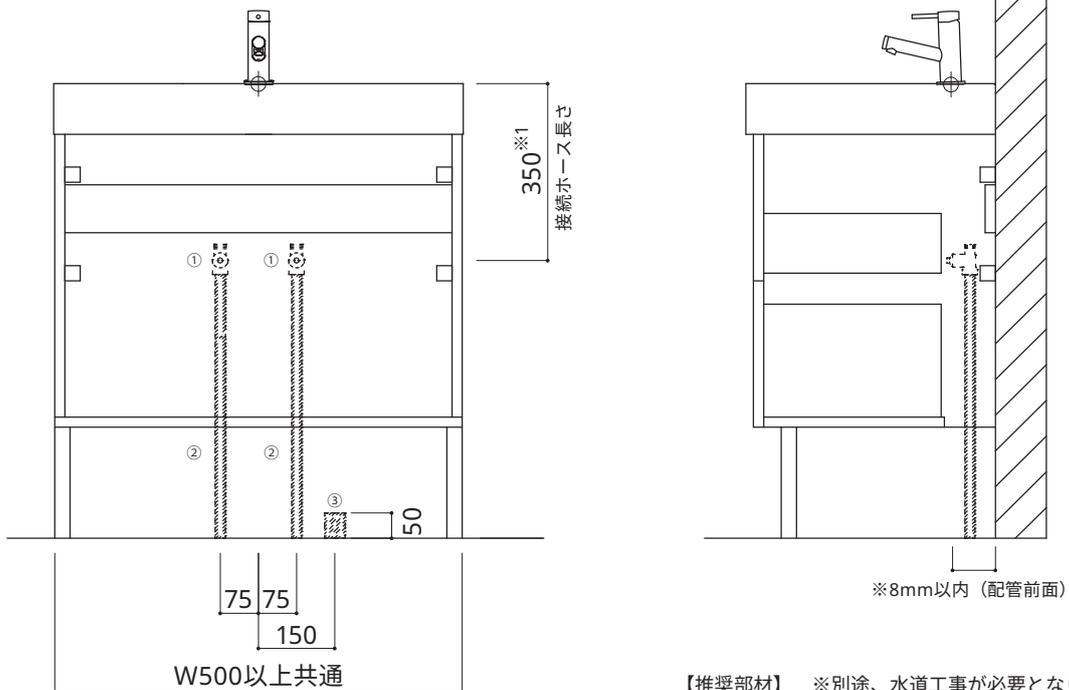
## W500以上 / 壁給排水の場合



【推奨部材】 ※別途、水道工事が必要となります。

- ①D型化粧バルブ（アングル止水栓）呼13A  
※水栓ホース接続の際、長さが足りない場合は「フレキホース」をご利用ください。
- ②短ニップル
- ③排水管（V UまたはV P管）呼40 エルボ取付 先端50mm立上

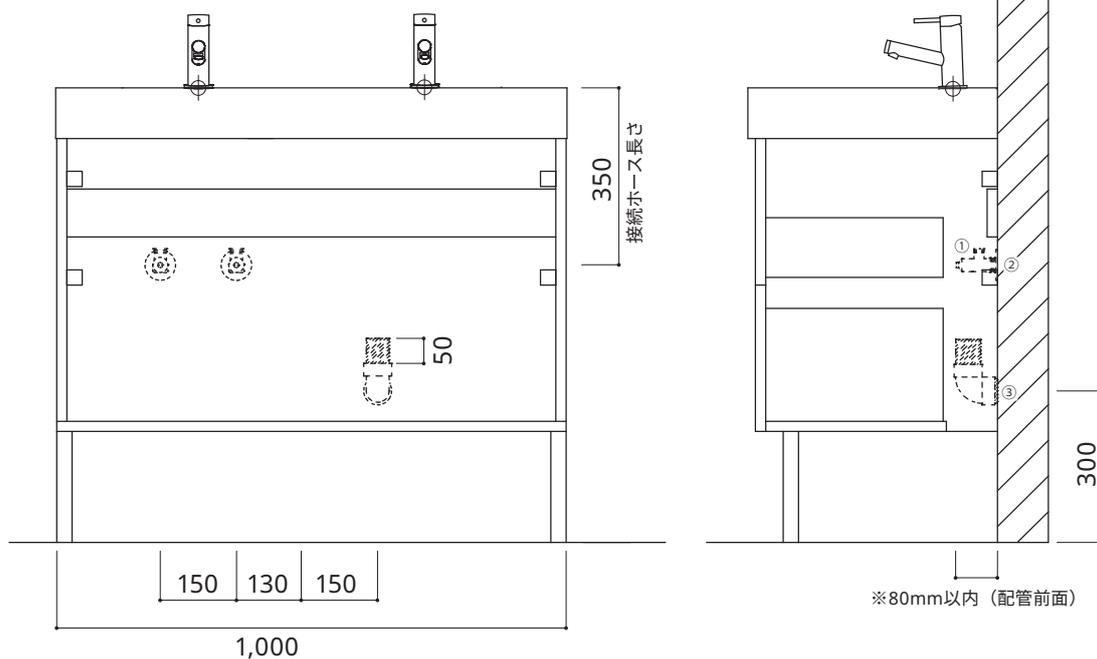
## W500以上 / 床給排水の場合



【推奨部材】 ※別途、水道工事が必要となります。

- ①D型化粧バルブ（アングル止水栓）呼13A  
※水栓ホース接続の際、長さが足りない場合は「フレキホース」をご利用ください。
- ②給水管（メッキ管）呼13A
- ③排水管（V UまたはV P管）呼40

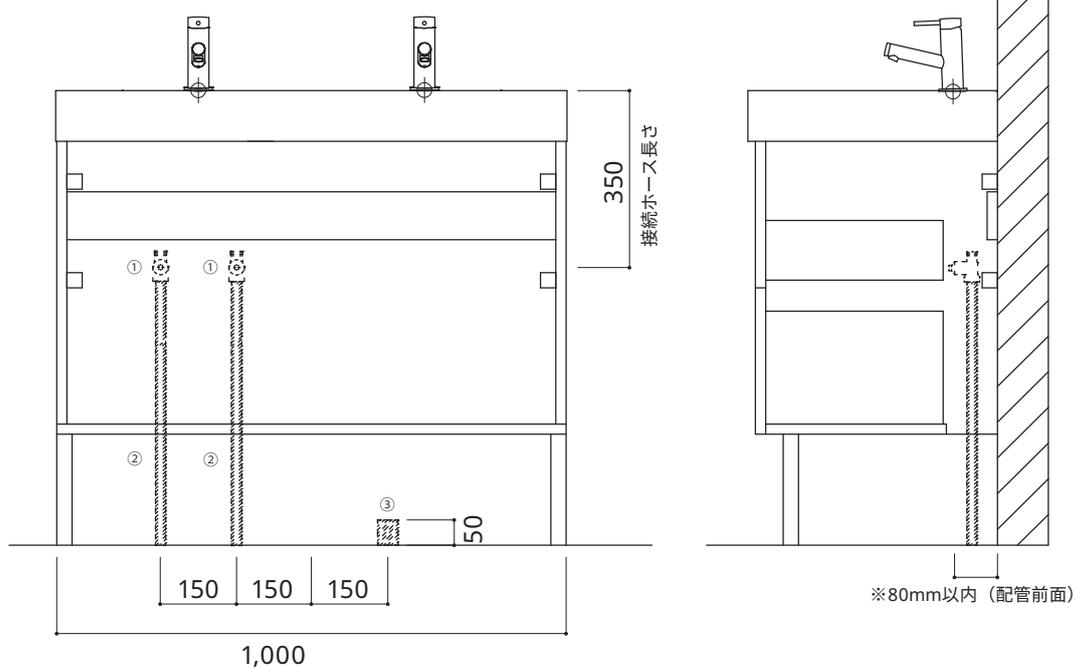
## W1,000 ダブルボウル/壁給排水の場合



【推奨部材】 ※別途、水道工事が必要となります。

- ① D型化粧バルブ（アングル止水栓）呼13 A  
※水栓ホース接続の際、長さが足りない場合は「フレキホース」をご利用ください。
- ② 短ニップル
- ③ 排水管（V UまたはV P管）呼40 エルボ取付 先端50mm立上

## W1,000 ダブルボウル/床給排水の場合



【推奨部材】 ※別途、水道工事が必要となります。

- ① D型化粧バルブ（アングル止水栓）呼13 A  
※水栓ホース接続の際、長さが足りない場合は「フレキホース」をご利用ください。
- ② 給水管（メッキ管）呼13 A
- ③ 排水管（V UまたはV P管）呼40





# 理想のバスルームを実現する イケアの便利なサービス

バスルームの購入は誰にとっても一大プロジェクトです。考えなければならないこと、決めなければならないことがたくさんあり、途方にくれてしまうかもしれません。でもご心配なく。イケアでは、バスルーム購入のすべてのステップでお客さまをサポートするさまざまなサービスをご用意しています。

## イケアの便利なサービス

イケアでは、下記のような便利なサービス(有料)をご用意しています。  
詳しくは、イケアのウェブサイトをご覧ください。 [www.IKEA.jp/services](http://www.IKEA.jp/services)



### 配送サービス/小物配送サービス

イケアストアでも、IKEAオンラインストアでも、どんなにたくさん買っても、どんなに重くなっても、ご購入いただいた商品をイケアが自宅までお届けします。



### 家具組立てサービス

ほとんどのイケア製品はお客さまご自身で組み立てられるようデザインされていますが、ご希望のお客さまには、専門スタッフによる家具組立てサービスをご用意しています。



### キッチン/洗面台施工サービス

イケア認定の施工会社が、設置場所の測量から施工までを行います。壁・床のリフォーム全般も承ります。

掲載価格には、消費税が含まれます。また、特に記載がない限り、配送や組み立てなどのサービス料金は含まれません。(ほとんどの商品は組み立てが必要です。) 掲載価格は、原材料費や輸送コストの上昇など、やむを得ない事情により予告なく変更される場合があります。本購入ガイドに掲載された商品でも、入荷遅延や在庫不足などにより一時的に提供できないことや、販売を終了することがあります。また、店舗によっては取り扱いのない場合があります。商品の詳しい情報は、店頭のプライスタグまたはIKEA オンラインストア ([www.IKEA.jp](http://www.IKEA.jp)) で確認できます。また、IKEA オンラインストアの各商品ページから在庫状況をご確認いただけます。ただし、IKEA オンラインストアでは取り扱っていない商品もあります。あらかじめご了承ください。

